

# 第2期和歌山市スポーツ推進計画



令和5年3月  
和歌山市



## 第2期和歌山市スポーツ推進計画の策定にあたって



スポーツは、体力の向上と健康増進に寄与するだけでなく、人と人をつなぎ、私たちの生活に夢や目標をもたらし、和歌山市の魅力向上や地域経済の活性化など、活気ある地域社会の形成に大きな役割を担っています。

本市では、第1期の和歌山市スポーツ推進計画に基づき、平成25年度から令和4年度までの10年間、スポーツに関する施策を推進してまいりましたが、その一方で、少子高齢化や市民ニーズの多様化が進み、また、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、様々なスポーツ活動やスポーツイベントが中止・延期を余儀なくされるなど、スポーツを取り巻く社会環境は大きく変化しています。

今回、こうした社会状況や第1期計画の進捗状況を踏まえ、生涯スポーツの振興とスポーツを通じた地域振興を推進し、第5次和歌山市長期総合計画にある「市民の誰もが生涯にわたり気軽にスポーツに親しみ、健康増進や体力づくり、仲間づくりや生きがいをづくりに取り組んでいる」〈まち〉を実現できるよう、第2期和歌山市スポーツ推進計画を策定し、市民の皆様にはスポーツに親しむ機会と環境を提供してまいります。

結びに、この計画の策定にあたり、御尽力いただきました第2期和歌山市スポーツ推進計画策定委員の皆様をはじめ、貴重な御意見をお寄せいただきました市民の皆様、関係各位に心から御礼申し上げますとともに、今後とも本市のスポーツ振興に御理解、御支援をいただきますようお願い申し上げます。

令和5年3月

和歌山市長 尾花 正啓

## 目 次

## 第1章 計画の策定にあたって

1	計画策定の趣旨	1
2	計画におけるスポーツの定義	1
3	計画の位置づけ	2
4	計画期間	2
5	SDGsとスポーツ	2
6	第1期計画の検証	3

## 第2章 計画の体系

1	目指す〈まち〉の姿と取組方針	12
2	基本施策	12
3	計画の体系図	13

## 第3章 基本施策と施策項目の取り組み

## 【取組方針1】生涯スポーツの振興

## 基本施策（1）ライフステージに応じたスポーツの推進

施策項目①	幼児期からの運動遊び機会の充実	14
施策項目②	若い世代・ビジネスパーソンのスポーツ推進	14
施策項目③	高齢者を対象としたスポーツの推進	15
施策項目④	障害者スポーツの推進	16
施策指標1		16

## 基本施策（2）児童、生徒の運動機会の充実

施策項目①	子供たちの体力づくり	17
施策項目②	関係機関、地域人材等との連携	18
施策指標2		18

## 基本施策（３）スポーツをする環境づくりの推進

施策項目①スポーツイベントなどスポーツの機会の充実	19
施策項目②スポーツ施設等の有効活用	20
施策指標3	20

## 【取組方針２】スポーツを通じた地域振興

## 基本施策（４）地域でのスポーツ活動の充実

施策項目①スポーツ団体との連携	21
施策項目②スポーツを支える人材の育成	22
施策指標4	22

## 基本施策（５）スポーツによる交流の拡大

施策項目①本市の特長を生かしたスポーツの普及促進	23
施策項目②スポーツツーリズムの推進	24
施策項目③つつじが丘総合公園の整備	24
施策指標5	24

## 第４章 計画を進めるにあたって

1 成果指標について	25
2 本計画の推進方法	25
3 進捗管理	25

## 資料 26

和歌山市の体育施設	27
市民アンケート調査	29
和歌山市スポーツ推進計画策定委員名簿	40

## 第1章 計画の策定にあたって

### 1 計画策定の趣旨

第1期和歌山市スポーツ推進計画（以下、第1期計画）は、スポーツ基本法（平成23年6月制定）において、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利である」と記され、心身の健康増進、青少年の健全育成、地域再生、社会経済の活力創造、国際的地位の向上に担うスポーツの役割の大きさが示されたことや、本市の課題（少子高齢化、情報化の進展、人間関係の希薄化、幼少期における運動遊び機会の減少、児童生徒の運動能力の二極化、生涯スポーツ、競技スポーツの活性化、スポーツ環境の整備等）を踏まえて、市民のスポーツに対する関心と理解を深め、スポーツへの参加・支援を促進するため、平成25年3月に策定しました。

第1期計画の10年間（平成25年度～令和4年度）では、計画に基づき、様々なスポーツ施策を実施し、市民の体力向上や健康維持・増進、青少年の健全育成、コミュニティの再生とともに、大規模スポーツイベントや合宿の開催・誘致の取組など賑わいあふれるまちづくりを目指してきました。

こうした背景を踏まえ、本市では、市民がスポーツを通じ、健やかで明るく、豊かな生活を享受するとともに、スポーツによる地域振興を図り、今後のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進するために、第1期計画の見直しを行い、「第2期和歌山市スポーツ推進計画」を策定します。

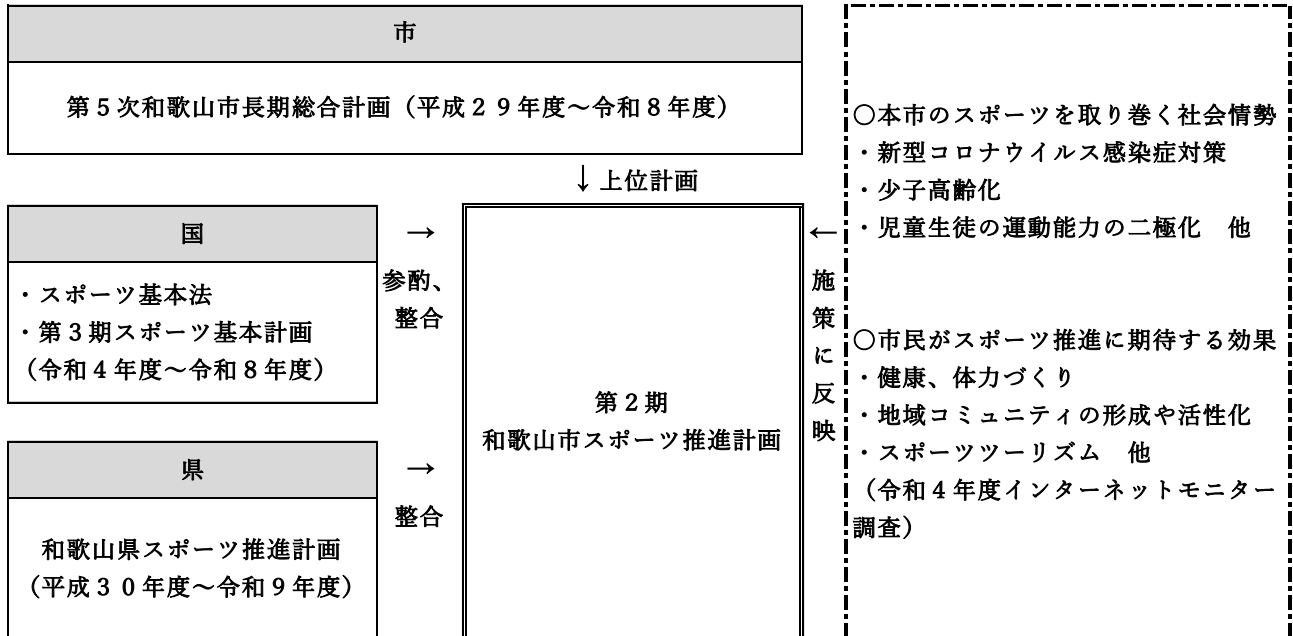
### 2 計画におけるスポーツの定義

国の「スポーツ基本法」では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」とされており、本計画においても、スポーツをより身近なものと感じていただくため、スポーツの概念を幅広く捉えており、ルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性の高いものだけでなく、健康の保持増進のためのウォーキングや体操、トレーニング、公園での外遊びなど身体活動の全てをスポーツとして扱います。

### 3 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条に基づき、国の「第3期スポーツ基本計画」を参酌し、本市の実情に即した「地方スポーツ推進計画」です。

本市の「第5次和歌山市長期総合計画」の下、国、県の取組との整合を図った上で、市のスポーツに係る基本計画として策定します。



### 4 計画期間

計画期間は、令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

### 5 SDGsとスポーツ

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2030年までの国際目標として、2015年9月の国連サミットで採択されました。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことが宣言されています。

スポーツは、健康や教育などSDGsの達成に寄与する活動であり、本計画においても、目標達成に向けて取組を推進していきます。



## 6 第1期計画の検証

第1期計画では、『第3章 生涯スポーツの推進』、『第4章 スポーツイベントの推進とスポーツ選手・スポーツ指導者の活用による好循環の創出』、『第5章 スポーツ施設の整備と適切な運用』という3つの章で、本市が10年間で取り組む施策として、現状や課題をもとに目標や具体的展開を設定しています。

第1期計画の成果指標・施策に関する総括的な評価は、おおむね次のとおりです。

### 【第1期計画 目標】

(目標1) 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率65%達成を目指す。

(目標2) 成人の運動・スポーツ未実施者(1年間に1度も運動・スポーツを実施しないもの)の数をゼロに近づける。

(目標3) 幼児の身体活動の充実および児童生徒の運動能力の向上を目指す。

	計画策定時 (平成24年度)	中間評価時 (平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成人の週1回以上の 運動・スポーツ実施率 (市政世論調査)	44.4%	48.1%	50.3%	58.7%	62.1%	58.1% (目標値65%)
男性			51.4%	60.8%	65.4%	61.1%
女性			49.4%	56.9%	59.7%	56.2%
18～19歳	66.7%	64.3%	70.0%	80.0%	75.0%	91.7%
20～29歳	45.7%	34.4%	56.6%	61.3%	71.9%	58.8%
30～39歳	38.9%	35.5%	33.7%	46.3%	50.9%	56.7%
40～49歳	36.8%	40.6%	45.5%	48.8%	55.6%	54.8%
50～59歳	41.5%	41.6%	47.2%	54.8%	57.5%	56.0%
60～69歳	47.7%	50.4%	53.5%	65.8%	66.8%	62.6%
70～79歳	56.1%	61.3%	57.3%	64.8%	70.0%	58.1%
80歳以上	(70歳以上)	60.4%	50.8%	63.4%	56.3%	54.1%

令和4年度の成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率は58.1%となっており、第1期計画策定時の平成24年度と比べ、13.7ポイント上昇しています。また、年代別では、70歳以上が平成24年度でも56.1%と高い実施率でしたが、令和4年度では70～79歳が2ポイント上昇した58.1%、80歳以上は2ポイント減少した54.1%となりました。また、その一方で、18～19歳が大きく25ポイント伸びて90%台になっています。

目標である成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率65%(平成24年度の第1期計画策定時から18歳以上の実施率)や成人の運動・スポーツ未実施者の数をゼロに近づけるため、全体的に運動・スポーツ実施率を引き上げる対策に取り組んでいく必要があります。



また、小・中学校で実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果は、下記のとおりであり、第1期計画策定当初は、小・中学校の男子、女子とも市平均値が全国平均値を下回っていましたが、体育授業の改善などにより、目標としている全国平均値を上回る年度も見られるようになりました。今後も子供たちが体を楽しく動かせる環境づくりや体育授業の充実、地域スポーツとの連携が重要となっています。

	第1期計画策定時 (平成24年度)		中間評価時 (平成29年度)		最新値 (令和4年度)		目標値
小学5年男子	市	53.97	市	55.01	市	52.41	
	全国	55.55	全国	54.16	全国	52.29	
小学5年女子	市	53.59	市	56.16	市	54.09	
	全国	56.08	全国	55.72	全国	54.32	
中学2年男子	市	38.66	市	41.93	市	41.25	
	全国	44.57	全国	42.11	全国	40.90	
中学2年女子	市	45.10	市	48.62	市	45.79	
	全国	51.39	全国	49.97	全国	47.28	

※50メートル走や反復横とびなど8種目の結果を各10点満点に換算し算出  
(80点満点)

幼稚園、保育所、認定こども園では、幼児期運動指針の実践を進めていますが、乳幼児期は、小・中学校で本格的にスポーツに接する前の大切なプレ・スポーツ期であるため、子供たちの運動習慣を形成するための取組を継続していく必要があります。



新春つれもて歩こう走ろう会（元旦開催）

## 【第1期計画第3章 生涯スポーツの推進】

## 【主な実施状況】

## ○高齢者を対象としたスポーツ教室の充実

## ①わかやまシニアエクササイズ

	実施場所数	参加者数
令和元年度	108	3,334人
令和2年度	110	2,544人
令和3年度	109	1,891人

## ②WAKAYAMAつれもて健康体操（平成28年度開始）

	実施場所数	参加者数
令和元年度	92	1,563人
令和2年度	95	1,392人
令和3年度	102	897人

※令和4年度より「まりと殿様体操」実施

## ○市内ウォーク&amp;市内サイクリングの推進

## ①生涯スポーツ交流大会健康いきいきハイキング（市体育協会主催）

	参加者数
令和元年度	68人
令和2年度	95人
令和3年度	82人
令和4年度	81人

## ②和歌山市健康ウォークの配布

- ・令和3年度に市内5つのウォーキングコースに更新
- ・配布先：各保健センター、各コミュニティセンター、四季の郷公園、市民図書館

## ③市内32か所にサイクルラックを設置

## ④スマートフォンでアプリをダウンロードし、自転車で各観光施設を巡る

「泉州・和歌山Cycle Ride」を実施。

	完走者数（①泉州コース ②和歌山・岬コース）
令和3年度	319人（①171人 ②148人）
令和4年度	309人（①163人 ②146人）

## ○幼児期運動指針（文部科学省）の普及

## ○体育科研究校（野崎西小学校、中之島小学校、今福小学校）を設置し、指導方法や授業の取組方法について研究

○小中学校での始業前や昼休憩等における運動の励行

○小学校体育連盟の大会（陸上、水泳、バスケットボールの3種目）

令和2年度～令和4年度は3競技とも中止

（理由：天候、新型コロナウイルス感染症の感染拡大）

○中学校体育連盟の大会（夏14競技、秋13競技）

○中学校での運動部活動（185部）

	加入率	加入者数（中学生総数）
令和3年度	57.9%	4,241人（7,331人）
令和4年度	56.0%	4,086人（7,299人）

○全中学校で「紀州っ子体力アッププラン」（各学校が作成した体力向上プラン）を実施

○パワーアップチャレンジ手帳の活用（令和3年度からデジタル化）

○学校体育施設開放事業

	開放校数	登録団体数	登録人数
令和元年度	68	563	9,164人
令和2年度	68	583	9,438人
令和3年度	68	566	9,281人

○総合型地域スポーツクラブの活動

	クラブ数
令和元年度	15
令和2年度	16 + 準備団体3
令和3年度	17 + 準備団体3
令和4年度	17 + 準備団体3

○スポーツ少年団の活動

	種目数	団体	団員数	指導者数
令和元年度	12	109	1,460人	428人
令和2年度	12	104	1,365人	338人
令和3年度	12	104	1,362人	356人

・スタートコーチ養成講習会（県スポーツ少年団本部主催） 年2回（紀北、紀南）実施

○施設のバリアフリー化

令和3年3月	市民体育館の障害者用駐車場にカーポート設置
令和4年4月	つつじが丘総合公園 新駐車場を整備 (障害者用駐車場5台を含む231台駐車可能)

## ○障害者スポーツの推進

## ①障害者スポーツ推進事業

	主な実施内容
令和元年度	和歌山市障害者スポーツイベントで障害者スポーツ体験会等を実施 (和歌山市、スポーツ振興和歌山市議会議員連盟共催)
令和2年度	市内のマーケットイベントにおいて障害者スポーツ体験会を実施
令和3年度	①アウトリーチ事業として Zoom で障害者福祉施設間を繋ぎ、 オンラインスポーツ大会 (種目: 玉入れ等) を開催 ②東京パラリンピック車いすバスケットボール銀メダリスト によるパラスポーツ体験授業 (会場: 市立中之島小学校体育館)

(その他)

- ・障害者スポーツ教室を年6回開催 (令和2年度～令和3年度)  
(実施種目: ボッチャ、グラウンド・ゴルフ、バスケットピンポン)
- ・和歌山県初級障害者スポーツ指導員養成講習会の周知  
(主催: 県障害者スポーツ協会)

## ②障害者卓球大会

	参加者数
令和2年度～令和3年度	中止
令和4年度 (第37回大会)	選手50人、学生ボランティア40人

## ③市立体育施設での障害者スポーツ教室 (指定管理者自主事業)

## 【現状と課題】

小学生、中学生の全国体力・運動能力等調査の8種目合計点は全国平均値を上回る年度も出てきていますが、運動する子と運動しない子の二極化の解消が課題であり、子供たちが運動・スポーツを好きになるため、体育授業の改善や幼児の運動遊び機会の充実に努める必要があります。

高齢者を対象とした運動プログラムは、活発な普及活動により各地域での実施箇所は増加しているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、減少傾向にある参加者数への対策が課題と捉えています。

総合型地域スポーツクラブや学校体育施設開放事業では各団体との連携や参加者の増加を図ることを課題と考えています。

## 【第1期計画第4章 スポーツイベントの推進とスポーツ選手・スポーツ指導者の活用による好循環の創出】

### 〔主な実施状況〕

#### ○和歌山ジャズマラソン

	総エントリー数	県外からの参加者（率）
令和元年度（第19回）	9,128人	2,929人（32%）
令和2年度～令和3年度	中止	中止
令和4年度（第20回）	6,076人	2,404人（39%）

※令和2年度はオンライン和歌山ジャズマラソンを実施（参加者数2,001人）

#### ○新春つれもて歩こう走ろう会（共催：和歌山市スポーツ推進委員連盟）

	参加者数	干支入り記念メダル
令和元年度（第41回）	2,100人	2,100枚
令和2年度（第42回）	1,873人	2,100枚
令和3年度（第43回）	2,000人	2,000枚
令和4年度（第44回）	2,000人	2,000枚

※令和2年度及び令和3年度大会は記念メダル配布のみ実施

#### ○生涯スポーツ交流大会（共催：和歌山市体育協会）

	実施種目	延べ参加者数
令和元年度	15	1,986人
令和2年度	10（中止5）	1,235人
令和3年度	9（中止6）	707人
令和4年度	14（中止1）	1,560人

#### ○各種体育施設でのスポーツ教室（指定管理者自主事業）

開催場所：松下体育館、河南総合体育館、市民体育館、東公園体育館、市民温水プール、市民スポーツ広場

実施種目：ソフトテニス、太極拳、バドミントン、卓球、硬式テニス、エアロビクスダンス、ピラティス、健康ストレッチ、ヨガ他

	延べ開催数	延べ参加者数
令和元年度	794回	17,971人
令和2年度	437回	13,309人
令和3年度	610回	14,092人

## ○ジュニアスポーツ教室

(協力：アルテリーヴォ和歌山、和歌山トライアonz、堺ブレイザーズ、日鉄物流ブレイザーズ)

	実施種目	参加者数
令和元年度	バスケットボール、 バレーボール、卓球	小学1～3年生の部 110人
		小学4～6年生の部 110人
令和2年度	中止	中止
令和3年度	バスケットボール、 バレーボール	小学1～2年生の部 80人
		小学3～6年生の部 80人
令和4年度	バスケットボール、 バレーボール	小学1～2年生の部 83人
		小学3～6年生の部 87人
	サッカー	小学1～3年生の部 139人 小学4～6年生の部 23人

## ○学校部活動の指導者派遣

①平成9年度から公立中学校と市立高等学校の運動部活動に外部指導者を派遣。

	派遣数	種目
令和4年度	7校に10人	バスケットボール、硬式野球、柔道、 ソフトテニス、サッカー、空手道、卓球

②平成29年度から、顧問教員が1人で指導している運動部、文化部に対して大会等への引率を単独で行うことができる部活動指導員を導入。

	派遣数	種目
令和4年度	13校に28人	剣道、軟式野球、柔道、ソフトテニス、 硬式テニス、バスケットボール、 軟式野球、ソフトボール、陸上競技、 バレーボール、ハンドボール、吹奏楽

## ○スポーツ少年団などの地域の指導者の育成

## ○国際チームの合宿誘致

年度	日程	チーム	概要
令和元年度	1月6日	水泳(カナダ)	パラリンピック
	～1月14日	選手11人 スタッフ10人	事前合宿
令和3年度	7月14日	サッカー(ドイツ男子)	オリンピック
	～7月18日	選手21人 スタッフ19人	事前合宿



## 〔現状と課題〕

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により多くのスポーツイベントが中止となりましたが、和歌山ジャズマラソンでは代替イベントとしてオンラインジャズマラソンを実施しました。また、新春つれもて歩こう走ろう会では、記念メダルのみ配布を行うなど開催方法を変更した大会もありました。その他のスポーツイベントでも参加者への健康チェックや会場内の消毒など、感染症対策を講じた上で実施しています。今後もウィズコロナ、アフターコロナに適應した開催方法を検討し、誰もが安心・安全に参加できる体制づくりが課題と捉えています。

市内の小・中学校では、運動量を確保した授業内容や、体育の授業以外にも運動の機会を設けるなど工夫ある取組を続けてきました。今後も体育科・保健体育科授業の充実に努めるとともに、教員や部活動指導者についての講習会への積極的な参加を促していきます。

また、児童生徒数減少が進む中、中学校部活動の在り方について、持続可能な活動環境を整備する必要があります。

レベルの高いアスリートによるスポーツ教室等、子供たちがスポーツに親しむきっかけとなる機会の充実を図るなど、本市のスポーツの担い手を支援していくための施策を実施していくことが必要であると考えています。



(サッカー)



(バスケットボール)

## ジュニアスポーツ教室

## 【第1期計画第5章 スポーツ施設の整備と適切な運用】

## 【主な実施状況】

## ○各体育施設の延べ利用人数

施設名		令和元年度	令和2年度	令和3年度
松下体育館		30,337人	21,800人	29,225人
市民体育館		39,508人	25,730人	27,614人(※)
河南総合体育館		31,715人	20,249人	43,465人
東公園体育館		19,884人	12,541人	16,405人
東公園市民球場		16,551人	9,562人	16,322人
市民温水プール		59,467人	46,409人	48,447人
市民スポーツ広場	野球場	27,710人	24,270人	29,372人
	球技場	8,001人	6,126人	11,432人
	陸上競技場	10,831人	7,804人	10,577人
	テニスコート	5,829人	4,120人	5,099人

※市民体育館は、R3.4.1～3.10.14、空調設置工事によりアリーナ閉鎖

## ○つつじが丘テニスコートの利用促進

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ利用人数	69,994人	49,934人	59,228人
合宿数 (延べ利用人数)	75件 (1,833人)	9件 (123人)	8件 (150人)

## 【現状と課題】

本市保有の施設を活用した利用者や合宿数、宿泊者の増加を図る対策が必要です。

マリンスポーツ、サイクリング、和歌山ジャズマラソンなどスポーツと本市の観光資源を活用したスポーツツーリズム（市外からの誘客、交流人口の拡大）を推進していく必要があります。

市民のニーズ等を調査・研究し、今後の施設整備や学校体育施設の修繕などを計画的に進めていくことを課題として捉えています。

【第1期計画の総括】幅広い世代の方がスポーツに取り組めるよう、様々なスポーツ施策を実施し、成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率も各年代において目標値に近づいています。引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ、市民のスポーツ環境の整備、スポーツへの関心の喚起等に努め、運動・スポーツ実施率を伸ばしていく対策を第2期計画期間で実施していく必要があります。

## 第2章 計画の体系

### 1 目指す〈まち〉の姿と取組方針

第5次和歌山市長期総合計画では、スポーツ分野における和歌山市の目指す姿は、「市民の誰もが生涯にわたり気軽にスポーツに親しみ、健康増進や体力づくり、仲間づくりや生きがいをづくりに取り組んでいる。」〈まち〉としています。性別、年齢、障害の有無などを問わず、市民の一人ひとりがスポーツの楽しさや価値を実感し、スポーツを通じた豊かな生活を送ることができるよう〈まち〉の実現に向けて、第5次和歌山市長期総合計画でも掲げている〔2つの取組方針〕を本計画でも取組方針として掲げました。

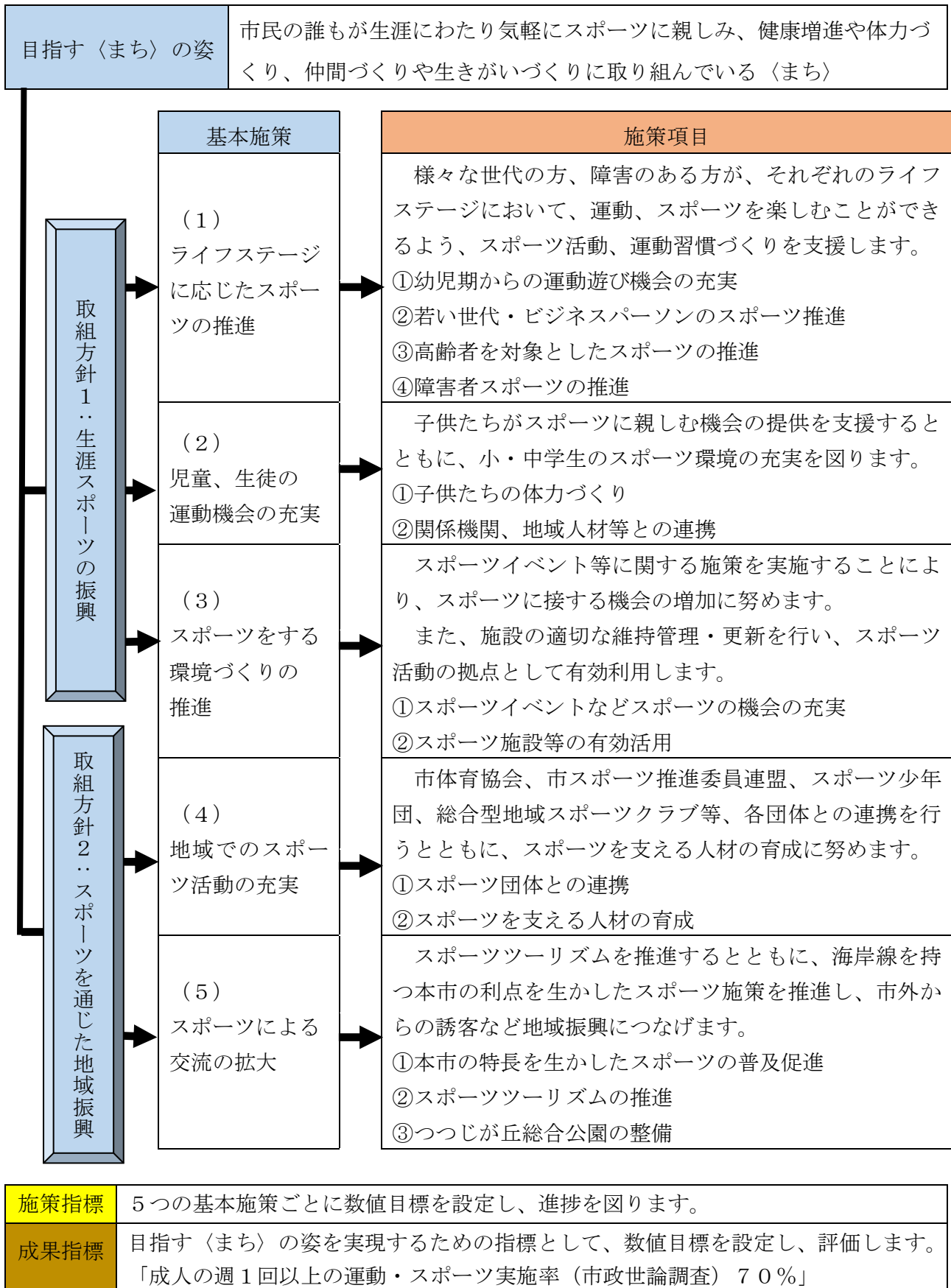
<p>取組方針1 生涯スポーツの 振興</p>	<p>市民がライフステージに応じてスポーツを楽しめるよう、スポーツ大会や教室の開催を支援するとともに、スポーツ指導者の育成に取り組みます。</p> <p>また、施設の適切な維持管理・更新を行うとともに、学校体育施設を地域住民のスポーツ活動の拠点として有効利用します。</p>
<p>取組方針2 スポーツを通じた 地域振興</p>	<p>和歌山ジャズマラソンの更なる発展を図るとともに、海岸線を持つ本市の利点を生かしたサイクリングロードの活用やウォーキング、マリンスポーツなどのアウトドアスポーツをはじめとしたスポーツの普及促進に取り組み、市民がスポーツに親しめる環境づくり、市外からの誘客など地域振興に繋がります。</p> <p>また、大規模な大会や合宿等の誘致活動に努め、レベルの高い競技者に触れる機会の充実を図ります。</p>

### 2 基本施策

目指す〈まち〉の形を明確にし、スポーツ活動を行うことやその他広く市民の意見を反映させていくとともに、市民が本計画に親しみを持っていただけるよう、2つの取組方針の実現に向けて【5つの基本施策】を位置づけ、スポーツ施策を推進していきます。

- 基本施策（1）ライフステージに応じたスポーツの推進
- 基本施策（2）児童、生徒の運動機会の充実
- 基本施策（3）スポーツをする環境づくりの推進
- 基本施策（4）地域でのスポーツ活動の充実
- 基本施策（5）スポーツによる交流の拡大

3 計画の体系図



## 第3章 基本施策と施策項目の取組

取組方針	1	生涯スポーツの振興
基本施策	(1)	ライフステージに応じたスポーツの推進

施策項目①	幼児期からの運動遊び機会の充実
<p>① 幼児期は、本格的にスポーツに接する前の準備段階、プレ・スポーツ期であり、心身の発育・発達に極めて重要であるため、障害の有無や性別等にかかわらず子供たちが身体を動かす楽しさを感じ、運動習慣を形成するため、幼児期における運動の重要性を提唱するとともに、市やスポーツ団体が行っている子供たちの運動遊び・スポーツに関する取組、スポーツを実施できる施設等について周知を図ります。</p> <p>② 幼稚園、保育所、認定こども園など関係機関に対して幼児期運動指針（文部科学省）の活用を促し、運動遊びの機会の充実を図ります。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターネット（ホームページ、SNS等）や広報紙（市報等）を活用し、スポーツに関する様々な情報の発信</li> <li>○幼児期の身体の成長段階を考慮した家族で楽しむことができる運動遊びやスポーツのイベントなど、運動・スポーツへの活動機会の周知を図ります。</li> <li>○幼児期運動指針の普及</li> </ul>

施策項目②	若い世代・ビジネスパーソンへのスポーツ推進
<p>仕事や子育てで忙しく、スポーツに取り組む時間が少ない若い世代・ビジネスパーソンについて、「子供との時間、帰宅後の隙間時間に運動・スポーツを楽しむ習慣づくり」、「職場への通勤時間や休憩時間を活用した運動への取組」など、自分のライフスタイルに合わせた運動習慣づくりに繋がるよう、情報発信や啓発を行い、運動・スポーツへの機運醸成に取り組めます。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターネット（ホームページ、SNS等）や広報紙（市報等）を活用し、スポーツに関する様々な情報の発信</li> <li>○親子でのスポーツイベントなど、運動・スポーツへの活動機会の周知</li> <li>○昼休みの体操・ストレッチや、階段の利用や徒歩・自転車通勤の奨励など、家庭や職場において運動・スポーツに親しむことへの啓発</li> </ul>



<p>施策項目③</p>	<p>高齢者を対象としたスポーツの推進</p>
<p>① 高齢者の介護予防など、スポーツを通じた運動習慣づくりを推進し、無理なく実施できるスポーツや体操などの運動、レクリエーションプログラムの活用・普及を図り、地域で自主的に活動する運動グループを積極的に支援し、さらに拡充するための参加の呼びかけや活動拠点の支援を行います。</p> <p>② スポーツへの関心を促し、高齢者が外出するきっかけとなるスポーツへの取組や、市民ニーズに合った体操やレクリエーション等をスポーツ団体等と協力し、検討・推進します。</p>	
<p>主な取組</p>	<p>○わかやまシニアエクササイズ自主グループの参加者拡充 (令和3年度 109か所、参加者数 1,891人)</p> <p>○WAKAYAMAつれもて健康体操 (令和3年度 102か所、参加者数 897人)</p> <p>○インターネット(HP、SNS等)や広報紙(市報等)を活用し、スポーツに関する様々な情報の発信【再掲】</p> <p>○スポーツ団体等が地域で行う体操、レクリエーション等との連携</p>



わかやまシニアエクササイズ



WAKAYAMAつれもて健康体操



障害者卓球大会と学生ボランティア



施策項目④	障害者スポーツの推進
<p>① 障害者が運動やスポーツを楽しもうとするときは、会場への移動手段という問題を抱えています。同行援護・行動援護・移動支援などの外出を支援するサービスや障害児者外出支援事業として、福祉タクシー券やバスカードを交付するなど福祉サービスを実施しています。</p> <p>また、令和3年度障害者スポーツ推進事業では、アウトリーチ事業（訪問事業）として、施設間をZoomでつないだオンラインスポーツ大会を実施しました。</p> <p>今後も、事業所やスポーツ団体等と連携し、障害者がスポーツに参加しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>② 障害には、さまざまな種類があります。障害を正しく理解することが大切です。</p> <p>令和元年度に「和歌山市障害者スポーツイベント」（共催：スポーツ振興和歌山市議会議員連盟）を開催し、令和2年度は市内のマーケットイベントにおいて障害者スポーツの体験会を開催し、障害者スポーツの啓発に努めました。また、和歌山ジャズマラソンでは、視覚等に障害のあるランナーの参加や、車イスのランナーの2kmジョギングへの参加があり、今後も体力づくりや健康維持、スポーツを通じた人との交流など、スポーツに関心のある方が障害の有無にかかわらず、スポーツを楽しめる機会の拡大に努めます。</p> <p>③ 和歌山市障害者卓球大会に多くの学生ボランティアが参加するなど、多様な障害への理解を促し、障害者スポーツ指導員の養成のための講習会やボランティアへの参加促進など障害者のスポーツ活動を支える人材の育成を図ります。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○和歌山市障害者卓球大会等、障害のある方が参加できるスポーツ事業</li> <li>○市立体育施設での障害者スポーツ教室（指定管理者自主事業）</li> <li>○障害者スポーツボランティアの周知・啓発</li> <li>○同行援護・行動援護・移動支援の実施</li> <li>○障害児者外出支援事業（福祉タクシー利用券など）</li> </ul>

施策指標 1	毎日合計60分以上、遊びを中心に楽しく体を動かしている幼児の割合		
	年齢別	最新値（令和3年度）	目標値（令和9年度）
	3歳児	93.5%	95.3%
5歳児	91.3%	92.3%	
[チャレンジ健康わかやま（健康わかやま21第2次計画）アンケート調査]			

取組方針	1	生涯スポーツの振興
基本施策	(2)	児童、生徒の運動機会の充実

施策項目①	子供たちの体力づくり
<p>① 本市の小・中学校では各教科等の研究会が中心となって授業改善の取組を進めており、体育科研究指定校では、指導方法や授業の取組方法について研究を進めています。</p> <p>また、教科等別研修会を実施した際は、市内各校から来る参観者からの評価を受けて、授業改善に取り組んでいます。平成29年11月に行われた「全国学校体育研究大会和歌山大会」では、中之島幼稚園・小学校、貴志中学校による授業提案が行われ、令和元年11月に行われた「近畿小学校体育研究大会和歌山大会」では野崎西小学校が授業提案を行い、市内の多くの先生方が研究会の取組に携わりました。</p> <p>今後は、これらの取組の成果をふまえ、各学校での体育の学習や、学校ごとの取組を通して児童生徒の体力向上を目指します。</p> <p>② 全国体力・運動能力等調査の8種目合計点は、授業の改善等により、小・中学校の男子・女子とも、第1期計画の目標である全国平均を上回る年度も見られるようになりましたが、運動をする子供としない子供の二極化が引き続き課題となっており、今後も学校と連携しながら体力テストを継続する中で、運動が苦手な子供や障害のある子供を含めて、スポーツや外遊びなど、子供たちが体を動かして遊ぶ機会の確保に取り組み、二極化の解消を図ります。</p> <p>③ 平成25年度から実施している「パワーアップチャレンジ手帳」は、市内の全小・中学生が、生活習慣や運動習慣の記録、また体力・運動能力調査の経年変化を記入できるものであり、生活習慣の改善や体力測定の目標として取り組んでいます。令和3年度に行ったデジタル化等、より一層活用していくための取組や手帳の内容の改善に取り組んでいます。</p> <p>④ 「和歌山市部活動指針」のさらなる周知徹底を図り、部活動における生徒の安全確保や部活動の適正な運営など、コンプライアンスの推進に取り組めます。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育研究校での授業改善の取組</li> <li>○体育の授業以外（昼休憩等）に運動時間を設ける取組</li> <li>○パワーアップチャレンジ手帳の活用</li> <li>○和歌山市部活動指針の周知徹底</li> </ul>



施策項目② 関係機関、地域人材等との連携

① 平成9年度から公立中学校と市立高等学校の運動部活動に外部指導者を派遣しており、令和4年度は7校に10人の指導者を派遣しました。

また、平成29年度より中学校や義務教育学校で、専門性がなく顧問教員が1人で指導している運動部、文化部に対して、より安全かつ効果的な活動を確保し、教員の負担軽減も図るため、指導や大会等への引率を単独で行うことができる部活動指導員も導入し、令和4年度は13校に28人の指導員を派遣しており、今後も、人材確保と合わせて学校との連携を継続します。

② 中学校の運動部活動加入率は、第1期計画策定時の平成25年度は57.6%でしたが、平成29年度は56.2%、令和4年度は56%であり、ここ数年の加入率は横這いとなっており、市中学校体育連盟で市内大会を実施していますが、少子化やクラブチーム化による影響もあり合同チームの数が増加するなど、現在の活動が存続できない状態も危惧されます。

今後、関係機関と連携し、将来にわたり生徒がスポーツ活動に継続して親しむことができる機会の確保に努めます。

主な取組	○中学校及び義務教育学校（後期課程）において、持続可能なスポーツ活動の確立を図る（本市の実情に応じた地域クラブ活動の検討、指導者や活動場所の確保の検討等）	
	○小・中学校体育連盟、地域のスポーツ団体等との連携	
	○外部指導者派遣	
	中学校	バスケットボール、柔道、卓球、ソフトテニス、サッカー
	高等学校	バスケットボール、空手道、ソフトテニス、硬式野球
	○部活動指導員	
中学校、義務教育学校	バスケットボール、柔道、ソフトテニス、硬式テニス、剣道、軟式野球、ハンドボール、ソフトボール、陸上競技、バレーボール、吹奏楽	
○中学校体育連盟による大会（夏14競技、秋13競技）		

施策指標 2	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における市平均値を上げる								
		第1期計画策定時 (平成24年度)		中間評価時 (平成29年度)		最新値 (令和4年度)		目標値 (令和9年度)	
	小学5年男子	市	53.97	市	55.01	市	52.41	55.55 (第1期計画策定時の全国平均値)	
		全国	55.55	全国	54.16	全国	52.29		
	小学5年女子	市	53.59	市	56.16	市	54.09	56.16 (中間評価時の市平均値)	
		全国	56.08	全国	55.72	全国	54.32		
中学2年男子	市	38.66	市	41.93	市	41.25	44.57 (第1期計画策定時の全国平均値)		
	全国	44.57	全国	42.11	全国	40.90			
中学2年女子	市	45.10	市	48.62	市	45.79	51.39 (第1期計画策定時の全国平均値)		
	全国	51.39	全国	49.97	全国	47.28			
※50メートル走や反復横とびなど8種目の結果を各10点満点に換算し算出（80点満点）									

取組方針	1	生涯スポーツの振興
基本施策	(3)	スポーツをする環境づくりの推進

施策項目①	スポーツイベントなどスポーツの機会の充実
	<p>① スポーツに接する機会を提供し、技術面・健康面のレベルアップや市民交流の推進のため、スポーツイベントやスポーツ教室等を各スポーツ団体と連携して実施します。</p> <p>② アルテリーヴォ和歌山（サッカー）、和歌山トライアンズ（バスケットボール）、堺ブレイザーズ（バレーボール）など本市を拠点に活動するクラブチームや、日鉄物流ブレイザーズ（卓球）など実業団チームと連携をとり、市民がトップアスリートに接する機会を創出し、スポーツへの関心・興味を高め、スポーツ人口を増やし、競技力の向上を支援します。</p> <p>また、市内在住・在学の小学生を対象にジュニアスポーツ教室を開催するなど、子供たちがスポーツに親しむ楽しさやきっかけづくりに向け、その習慣化を目指します。</p> <p>③ スポーツイベント等の情報提供を通じて、スポーツを観る機会の充実を図ります。</p>
主な取組	<p>○主なスポーツ教室や体験教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいスポーツ教室</li> <li>・ジュニアスポーツ教室</li> <li>・各体育施設、市体育協会、総合型地域スポーツクラブ等が実施するスポーツイベントや教室</li> </ul> <p>○主なスポーツイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌山ジャズマラソン</li> <li>・新春つれもて歩こう走ろう会</li> <li>・障害者卓球大会</li> <li>・スポーツ少年団各種大会</li> <li>・生涯スポーツ交流大会（15種目）</li> </ul> <p>①ペタンク ②ソフトボール ③インディアカ ④ソフトバレーボール          ⑤一輪車 ⑥バドミントン ⑦ソフトテニス ⑧卓球          ⑨ハイキング ⑩ゲートボール ⑪少林寺拳法 ⑫グラウンド・ゴルフ          ⑬パークゴルフ ⑭バレーボール ⑮ダンススポーツ</p> <p>○インターネット（HP、SNS等）や広報紙（市報等）を活用し、スポーツに関する様々な情報の発信〔再掲〕</p>



(一輪車)



(グラウンド・ゴルフ)

生涯スポーツ交流大会

施策項目②	スポーツ施設等の有効活用
	<p>① 市立体育館（市民体育館、松下体育館、河南総合体育館、東公園体育館）、市民温水プール、市民スポーツ広場、つつじが丘テニスコート等のスポーツ施設を適切に運営・維持管理することで、スポーツ活動を行う環境の充実に取り組みます。</p> <p>② 令和2年度、市民体育館の障害者用駐車場にカーポートを設置、また、翌年度には熱中症対策として空調設備を整備しました。「子供が体を動かして遊べる場所」、「大人の憩いとなる場所」、「障害のある方が安心、安全に使用できる場所」等、各体育施設の様々なニーズに対応するため、市民やスポーツ団体等の意見を聞き、より充実した環境となるよう整備に努めます。</p> <p>③ 学校体育施設開放事業では、市民にとってもっとも身近な場所にある市立の小・中・義務教育学校の体育施設を利用して、夜間や休日など学校の教育活動に支障のない範囲で開放しており、年間を通して住民に様々なスポーツを楽しめる場所を提供しています。総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、地域住民等を主体としたスポーツ団体は、和歌山市教育委員会に登録し、各学校の学校体育施設開放事業運営委員会において、自主的に運営する制度をとっており、今後も、利用団体や地域住民の意見を確認し、持続可能な地域スポーツ環境の確保に努めます。</p>
主な取組	<p>○各施設の運営、維持管理。ニーズに合わせた整備の検討。</p> <p>○市立体育施設でのスポーツ教室（指定管理者自主事業）</p> <p>○学校体育施設開放事業【実施しているスポーツ種目】</p> <p>合気道、インディアカ、空手、カンフー、体操、剣道、サッカー、少林寺拳法、スポーツチャンバラ、野球、卓球、ソフトボール、太極拳、綱引き、ディスクン、ドッジボール、なぎなた、テニス、バレーボール、バスケットボール、よさこい、バドミントン、ハンドボール、フェンシング、ペタンク、フットサル、陸上等</p>

施策指標 3	生涯スポーツ交流大会参加者数の増加				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標値 (令和9年度)
	15種目 1,986人	10種目 1,235人	9種目 707人	14種目 1,560人	17種目 2,200人
※令和2年度～令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止した種目あり。					



取組方針	2	スポーツを通じた地域振興
基本施策	(4)	地域でのスポーツ活動の充実

施策項目① スポーツ団体との連携

- ① 市体育協会、市スポーツ推進委員連盟、総合型地域スポーツクラブ等、本市のスポーツ団体との連携を進め、活動支援に努めます。
- ② 総合型地域スポーツクラブは、地域住民により自主的・主体的に運営され、令和4年度は、市内に17クラブ、設立準備中の3クラブがあり、会員数は約1,500人となっています。  
総合型地域スポーツクラブに対する市民の関心を高め、積極的な利用が図られるよう、活動活性化に向けた支援や広報活動の充実を図るなど連携を進めます。
- ③ スポーツ少年団は、スポーツ活動を通じて青少年の健全育成や競技力の向上などに貢献しており、子供のスポーツ活動の推進に欠かせない存在となっています。  
平成24年度の第1期計画策定当初に比べて種目数は増加していますが、団体数、総団員数、指導者数とも減少しており、合同チームでの活動を促すなど実態に応じた運用を検討する必要があります。  
また、指導者以外にもサポートしている保護者などはスポーツ活動を支える人材としてスポーツに参画していると捉えることができます。親子でスポーツ少年団の活動を楽しめるように、スポーツ少年団活動の理解、周知を図ります。

	種目数	団体数	総団員数	指導者数
平成24年度	8種目	109団体	1,519人	420人
令和4年度	12種目	102団体	1,385人	357人

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市体育協会、市スポーツ推進委員連盟、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団の活動</li> <li>○各スポーツ団体との連携と活動支援</li> </ul>
------	---



(ラジオ体操、ストレッチ)



(ビーチボールバレー)

市スポーツ推進委員連盟 ふれあいスポーツ教室



施策項目②	スポーツを支える人材の育成
	<p>① 市体育協会、市スポーツ推進委員連盟などのスポーツ活動を支える指導者について、スポーツ・インテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）の向上やガバナンスコードの順守など、様々な研修を実施し、資質向上に努めながら、市民へのスポーツへのきっかけづくりなどの活動を推進します。</p> <p>② スポーツ推進委員の活動を一層充実するため、研修会の開催、活動の活性化に向けた取組等を支援するとともに、広報活動を促進することで、スポーツ推進委員に対する認知度を高め、地域でのスポーツ活動等に積極的に参加する成り手の確保に努めます。</p> <p>③ スポーツ少年団では、『スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会』（主催：県スポーツ少年団本部）を毎年開催するなど、指導者の資格や指導方法に係る研修会や講習会が実施されています。質の高い指導者育成のため、研修会等への参加を積極的に奨励します。</p> <p>④ 和歌山ジャズマラソンなどスポーツイベントの開催には、市民のスポーツボランティアへの参加率を高めることが重要となっており、関係機関やスポーツ団体等と連携を進め、スポーツに関わる楽しさや、活動機会の発信等、興味・関心を喚起するとともに、継続的・積極的に参加しやすい環境づくりに努めます。</p> <p>⑤ 市のスポーツ振興に貢献し、功績のある個人又は団体に表彰を行います。</p>
<p>主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ少年団活動【再掲】</li> <li>○スポーツ推進委員の各事業（ふれあいスポーツ教室、フォトウォークラリー、新春つれもて歩こう走ろう会等）</li> <li>○ボランティアなどスポーツへの活動内容や活動機会の情報発信</li> <li>○障害者スポーツボランティアの周知・啓発【再掲】</li> <li>○和歌山市スポーツ賞</li> <li>○スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進</li> </ul>

<p>施策指標 4</p>	<p>過去1年間にスポーツに関するボランティア活動を行った人の割合の増加 （令和5年度以降の市政世論調査を実施する。）</p> <table border="1" data-bbox="443 1644 1358 1697"> <tr> <td data-bbox="443 1644 815 1697">目標値（令和9年度）</td> <td data-bbox="815 1644 1358 1697">10%</td> </tr> </table> <p>参考1：和歌山県：令和4年度和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケート 7.9%</p> <p>参考2：スポーツ庁：令和3年度スポーツの実施状況等に関する世論調査 8.2%</p>	目標値（令和9年度）	10%
目標値（令和9年度）	10%		

取組方針	2	スポーツを通じた地域振興
基本施策	(5)	スポーツによる交流の拡大

施策項目①	本市の特長を生かしたスポーツの普及促進
①	和歌浦湾や磯の浦海水浴場など本市固有の恵まれた自然環境（海やビーチ）を活用したスポーツを推進します。
②	サイクリングを楽しめる環境整備を進めるとともに、近隣市町などとも連携したサイクリングコースの周知を図り、サイクリストが楽しめるまちとしての認知度を高めます。
③	和歌山ジャズマラソンの魅力向上とさらなる発展を目指します。
④	和歌山城周辺や和歌の浦、加太、紀伊風土記の丘、和歌山マリーナシティ周辺など、風光明媚で歴史・文化が豊かな場所を存分に活用したウォーキングの普及促進を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マリンスポーツ体験教室</li> <li>○サイクリングイベントの実施</li> <li>○和歌山ジャズマラソン</li> <li>○生涯スポーツ交流大会「健康いきいきハイキング」</li> <li>○和歌山市健康ウォークの更新</li> </ul>



令和4年開催の第20回和歌山ジャズマラソンから、ハーフマラソンのスタートが和歌山城公園前になり、ジャズを聴きながら、和歌山城や和歌浦周辺の景色を楽しめる大会となりました。

施策項目②	スポーツツーリズムの推進
<p>① 温暖な気候や自然環境を有する本市のスポーツ施設等を活用した、スポーツキャンプや大規模大会などの誘致を図り、市外からの誘客とともに、市民や子供たちが、レベルの高い競技者に触れる機会の充実を図ります。</p> <p>② 本市独自の観光資源や自然環境を生かしたマリンスポーツ、サイクリング、和歌山ジャズマラソン等を活用し、関係機関と連携を図ることにより、市外からの誘客、交流人口の増加、地域内消費の拡大等を目指します。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツキャンプや大規模大会等の誘致</li> <li>○スポーツ等を活用したツーリズムの創出</li> <li>○スポーツを通じた地域振興に資する情報発信</li> </ul>

※スポーツツーリズムは、スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「支える」人々との交流、あるいは生涯スポーツの観点からビジネスなどの多目的での旅行者に対し、旅行先の地域でも主体的にスポーツに親しむことのできる環境の整備、国際競技大会の招致・開催、合宿の招致も包含した、複合的でこれまでにない「豊かな旅行スタイルの創造」を目指すものである。[観光庁：スポーツツーリズム推進基本方針]

施策項目③	つつじが丘総合公園の整備
<p>① つつじが丘テニスコートは、屋内テニスコート4面を含む全20面の全天候型テニスコートであり、和歌山県内随一の大型テニス施設です。大規模大会に対応できるため、様々な大会の開催やスポーツ合宿に活用されており、今後も、つつじが丘テニスコートの魅力を発信するとともに、コンベンション補助金制度の活用、地元大学や観光協会等と連携を図り、大規模大会や合宿の誘致に取り組みます。</p> <p>② つつじが丘テニスコートを含めた一体の総合公園とする「つつじが丘総合公園」は、スケートボード場、ソフトボール場等、様々なスポーツ施設とともに、身体に障害のある子供たちも一緒になって遊べるインクルーシブ遊具を配置した遊具広場を設置し、多世代のあらゆる方がスポーツや遊びを通して交流する、にぎわいを創出する拠点として整備していきます。</p>	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つつじが丘総合公園の整備</li> <li>○つつじが丘テニスコートを活用したスポーツ合宿や大規模大会の誘致、誘客プランの検討</li> </ul>

施策指標5	和歌山ジャズマラソンの総エントリー数の増加			
	第18回大会 (平成30年度)	第19回大会 (令和元年度)	第20回大会 (令和4年度)	目標値 (令和9年度)
	9, 139人	9, 128人	6, 076人	12, 000人
※令和2年度～令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止。				

## 第4章 計画を進めるにあたって

### 1 成果指標について

市民の誰もが、スポーツを通じて、健やかで明るく、豊かな生活を享受でき、賑わいあふれる「まち」を実現するための数値目標を、第5次和歌山市長期総合計画における施策2-5-4「スポーツの振興」に定める指標で評価します。

成果指標	現状値(令和4年度)	目標値(令和9年度)
成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率 ※「市政世論調査」、通勤・通学時の徒歩や自転車、ウォーキング、その他軽い運動・体操等を含む	58.1%	70%

参考1：和歌山県：令和4年度和歌山県民のスポーツ生活に関するアンケート 54.5%

参考2：文部科学省：第3期スポーツ基本計画 56.4%(令和3年度)

### 2 本計画の推進方法

市民、地域、スポーツ団体、事業者と行政が連携・協働し、本計画を推進します。

市民の役割	市民それぞれの能力、年齢、目的、ライフスタイルに応じて、運動やスポーツへの意識を高め、日頃から体を動かすように心掛けることが期待されます。
地域、スポーツ団体、事業者の役割	スポーツを通じた地域間の交流や地域コミュニティの形成を図り、積極的に連携・協力を行うことが期待されます。
行政の役割	本計画が広く市民等に理解され、推進されるよう、スポーツに親しむことが出来る環境を整備するとともに、スポーツ関係施策の実施を図ります。

### 3 進捗管理

本計画は各年度に進捗状況を管理し、必要に応じて対応を協議します。

また、計画期間の最終年度である令和9年度に、計画の実施状況を踏まえ、本計画の各施策の達成状況を把握し、評価を行います。

その評価結果及び社会情勢の変化を考慮した上で、次期計画の策定を行います。

# 資 料



## 和歌山市の体育施設

施設名	概要	
<p style="text-align: center;">松下体育館</p> 	所在地	和歌山市西浜 1 0 3 7 番地
	TEL	0 7 3 - 4 4 4 - 8 2 7 4
	FAX	0 7 3 - 4 4 4 - 8 2 7 5
	施設 内容	アリーナ 8 5 8 m <sup>2</sup> (3 3 m × 2 6 m)、会議室、 モニター室、更衣室 (シャワー付)、観覧席 6 8 0 席、 補助席 2, 0 0 0 席、駐輪場 5 0 台、 駐車場 1 2 0 台 (うち、身体障害者用 2 台)
<p style="text-align: center;">市民体育館</p> 	所在地	和歌山市土入 3 1 8 番地の 1
	TEL	0 7 3 - 4 5 3 - 2 0 0 7
	FAX	0 7 3 - 4 5 3 - 2 1 4 1
	施設 内容	アリーナ 1, 4 9 9. 7 4 m <sup>2</sup> (4 4 m × 3 4 m、 冷暖房設備を通年使用可能)、トレーニング室、 医務室、更衣室 (シャワー付)、ウエイトリフティング室、 観覧席 7 0 0 席、補助席 1, 0 0 0 席、駐車場 1 2 0 台 (身体障害者用 9 台。市民温水プール兼用)
<p style="text-align: center;">河南総合体育館</p> 	所在地	和歌山市和佐中 1 6 5 番地の 1
	TEL	0 7 3 - 4 7 7 - 4 0 0 9
	FAX	0 7 3 - 4 7 7 - 4 0 1 0
	施設 内容	アリーナ 1, 5 8 4 m <sup>2</sup> (4 4 m × 3 6 m、観覧席 4 7 5 席、補助席 7 0 0 席)、 武道場 (2 7 m × 1 7 m)、弓道場 5 人立、 屋外テニスコート (全天候型 1 面)、 ジョギングコース (2 0 0 m)、会議室、 トレーニング室、医務室、更衣室 (シャワー付)、 駐輪場 3 0 台、駐車場 1 2 0 台、
<p style="text-align: center;">市民温水プール</p> 	所在地	和歌山市土入 3 1 8 番地の 1
	TEL	0 7 3 - 4 5 5 - 8 0 2 2、0 7 3 - 4 5 5 - 8 0 2 3
	施設 内容	2 5 メートル公認プール (水深 1. 2 m ~ 1. 4 m、6 コース、2 5 m × 1 3 m)、 幼児用プール (水深 0. 6 m、9 0. 3 m <sup>2</sup> )、 更衣室 (シャワー付)、医務室、観覧室、会議室



市民スポーツ広場 	所在地	和歌山市福島796番地
	TEL	073-453-2007 (和歌山市立市民体育館)
	FAX	073-453-2141 (和歌山市立市民体育館)
	施設 内容	野球場2面(20,000㎡)、 球技場面積1面(19,800㎡)、 テニスコート9面(5,700㎡)、 陸上競技場300m×8コース(14,300㎡)、 トイレ、サッカーゴール、ラグビーポール
つつじが丘テニスコート 	所在地	和歌山市つつじが丘4丁目4番地
	TEL	073-488-5702
	FAX	073-488-5703
	施設 内容	コート全20面 (インドア4面、センターコート2面、屋外14面)、 会議室、医務室、更衣室(シャワー付)、 大会運営施設、 駐車場121台(うち障害者用2台、大型バス用3台) 及び新駐車場231台(うち障害者用5台)
東公園体育館 東公園市民球場  	所在地	和歌山市北出島133番地
	TEL	073-474-3331
	FAX	073-475-2874
	施設 内容	〔体育館〕 アリーナ(34m×34.5m)、観覧席300席  〔市民球場〕 軟式野球、ソフトボール専用の野球場。 軟式野球場(本塁センター間116m、両翼92m)、 収容人数2,500人

## 市民アンケート調査

第2期和歌山市スポーツ推進計画の策定に向け、市民の運動・スポーツの現状と課題を把握するため、市政世論調査とインターネットモニターによるアンケート調査を実施しました。

### (1) 令和4年度市政世論調査

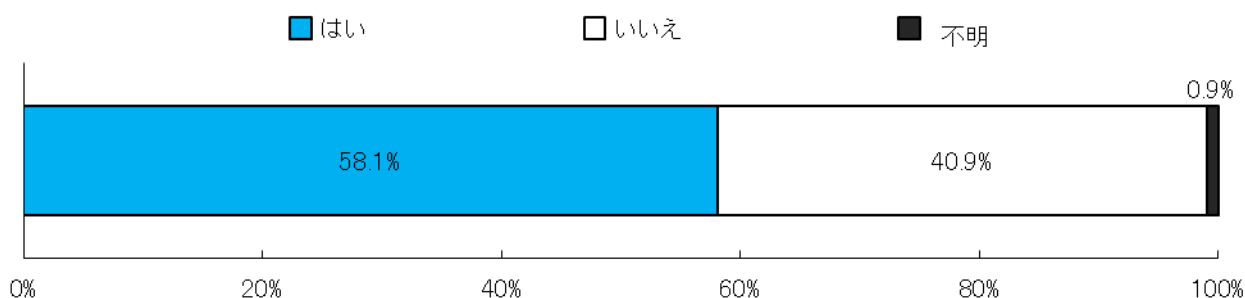
調査期間：令和4年6月27日（月）～令和4年7月19日（火）

調査対象：和歌山市に居住する満18歳以上の男女2,000人

調査方式：郵送配布及び郵送回収による郵送調査法

回答者数：950人（回答率47.5%）

問1 あなたは週1回以上運動（ウォーキングや軽い体操などを含む）やスポーツをしていますか？



	件数	比率
全体	950	100.0%
はい	552	58.1%
いいえ	389	40.9%
不明	9	0.9%

(参考)

平成24年度市政世論調査

はい 44.4%

平成29年度市政世論調査

はい 48.1%

○男女別 はい（比率）

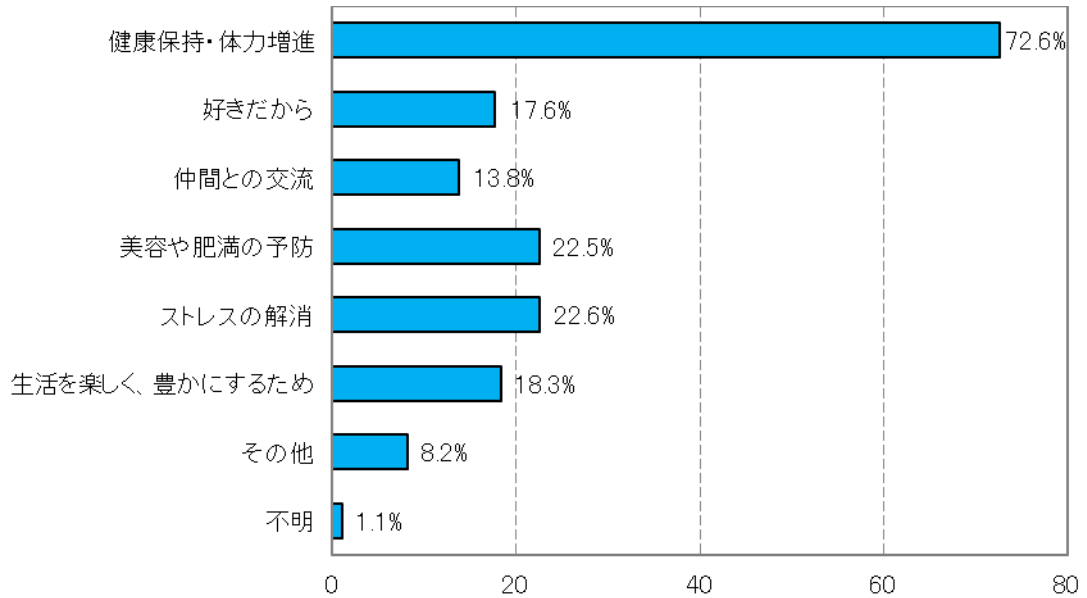
性別	比率
男性	61.1%
女性	56.2%

○年齢別 はい（比率）

年齢	比率
18～19歳	91.7%
20～29歳	58.8%
30～39歳	56.7%
40～49歳	54.8%
50～59歳	56.0%
60～69歳	62.6%
70～79歳	58.1%
80歳以上	54.1%

問1-1 問1で「はい」と回答した方が、運動やスポーツをしている理由（複数回答可）

運動やスポーツを行っている理由は、「健康保持・体力増進」と回答された方の割合が72.6%で最も多く、次いで「ストレス解消」（22.6%）、「美容や肥満の予防」（22.5%）となっています。



※複数回答のため%の合計は100を超えています。

その他：「通勤が自転車で行ける距離だから」、「通勤、通学のため」、「買い物」、「ペットの散歩」など

(参考) 平成24年度市政世論調査

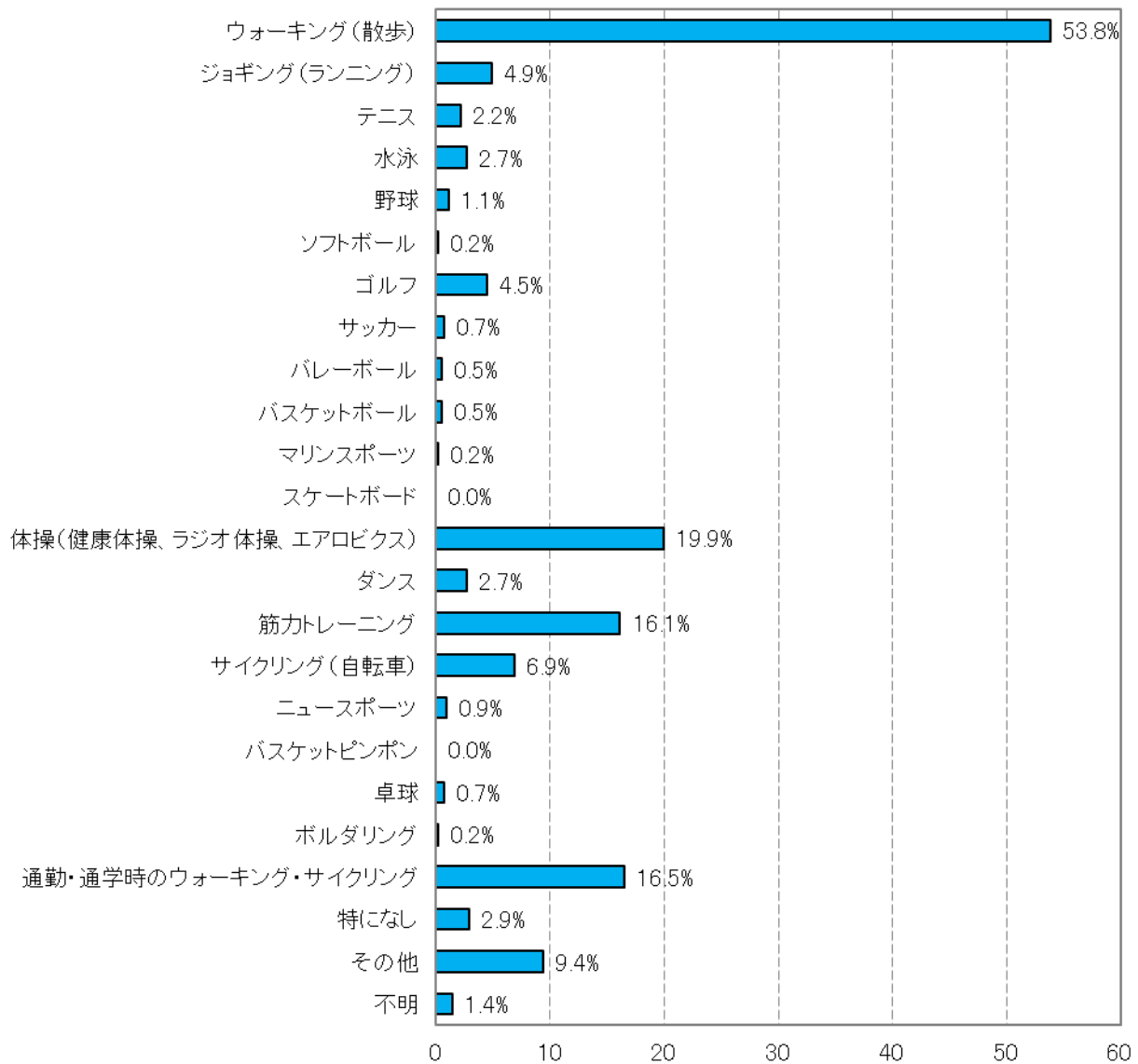
健康保持・体力増進	74.1%
好きだから	23.4%
仲間との交流	20.9%
美容及び肥満の予防	27.6%
ストレスの解消	29.8%
生活を楽しく、豊かにするため	21.9%
その他	3.7%

(参考) 平成29年度市政世論調査

健康保持・体力増進	84.8%
好きだから	22.7%
仲間との交流	23.1%
美容及び肥満の予防	22.3%
ストレスの解消	25.7%
生活を楽しく、豊かにするため	21.1%
その他	4.9%

問1-2 問1で「はい」と回答された方のみお答えください。あなたが、週1回以上行っている運動やスポーツは何ですか？（複数回答可）

週1回以上行っている運動やスポーツについて、「ウォーキング（散歩）」と回答された方の割合が53.8%と最も多く、次いで「体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス）」（19.9%）、「通勤・通学時のウォーキング・サイクリング」（16.5%）となっています。

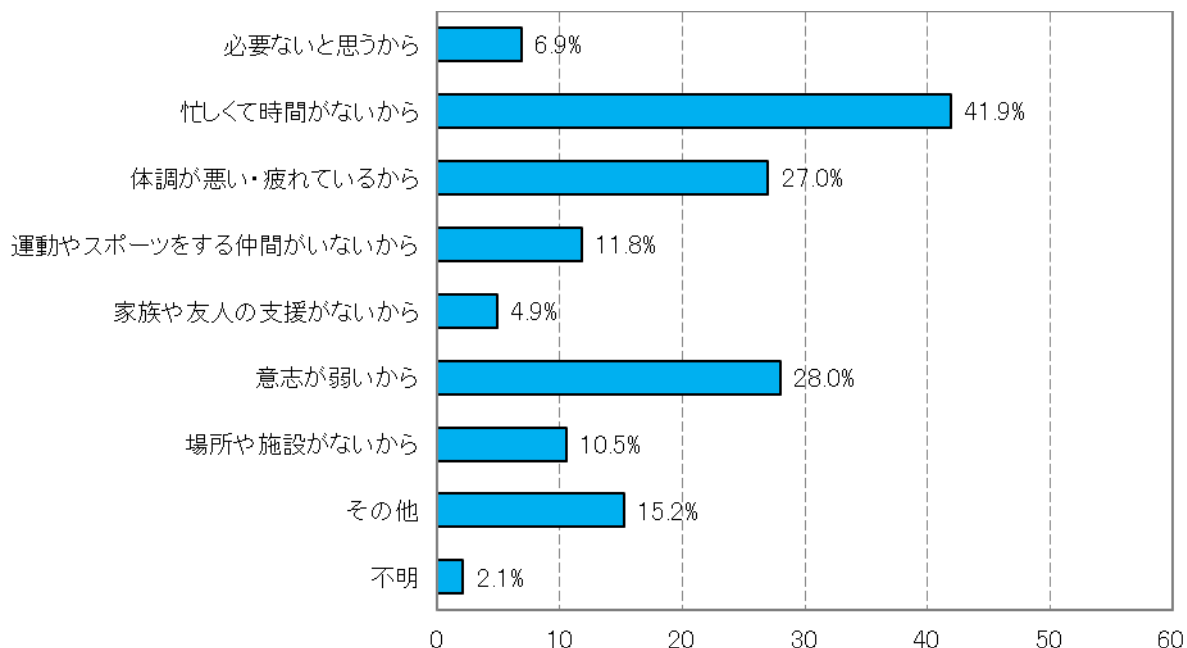


※複数回答のため%の合計は100を超えています。

その他：「ヨガ」、「ボーリング」、「ストレッチ」、「バドミントン」など

問1-3 問1で「いいえ」と回答された方のみお答えください。あなたが、運動やスポーツを行っていない理由は何ですか？（複数回答可）

運動やスポーツを行っていない理由について、「忙しくて時間がないから」と回答された方の割合が41.9%と最も多く、次いで「意志が弱いから」（28.0%）、「体調が悪い・疲れているから」（27.0%）となっています。



※複数回答のため%の合計は100を超えています。

その他：「足が悪い、膝が痛いから」、「高齢だから」、「運動が苦手」、「仕事で体力を使うから」など

（参考）平成24年度市政世論調査

忙しくて時間がない	47.3%
意思が弱い	29.2%
体調が悪い・疲れている	20.7%
運動・スポーツをする仲間がない	12.3%
必要ないと思う	9.1%
その他	8.7%
場所や施設がない	7.0%
家族や友人の支援がない	2.8%

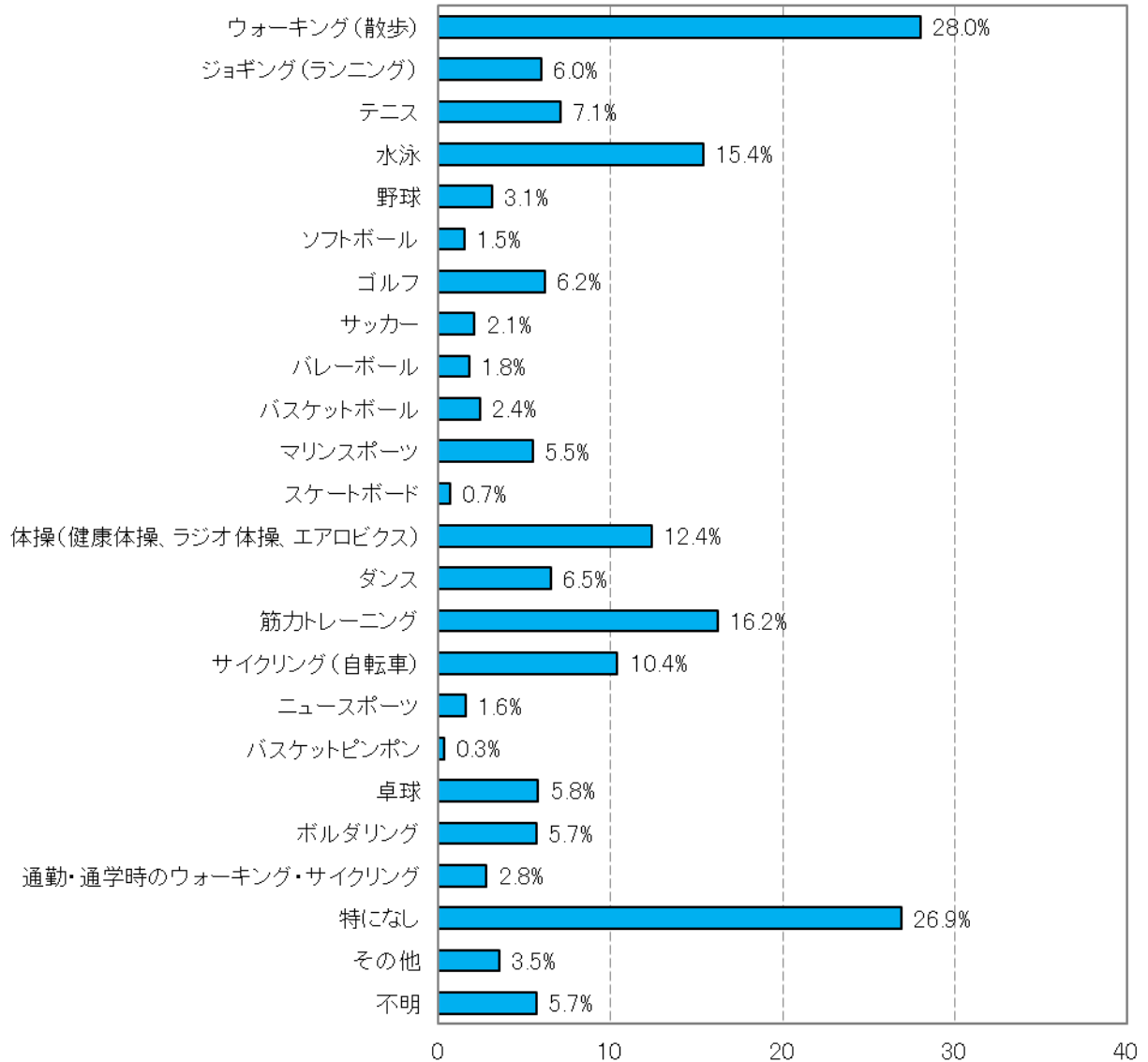
（参考）平成29年度市政世論調査

忙しくて時間がない	51.5%
意思が弱い	25.3%
体調が悪い・疲れている	24.0%
運動・スポーツをする仲間がない	10.8%
必要ないと思う	6.5%
その他	9.7%
場所や施設がない	11.6%
家族や友人の支援がない	3.0%



## 問2 あなたが、やってみたい運動・スポーツはありますか？（複数回答可）

やってみたい運動やスポーツについて、「ウォーキング（散歩）」と回答された方の割合が28.0%と最も多く、次いで「特になし」（26.9%）、「筋力トレーニング」（16.2%）となっています。

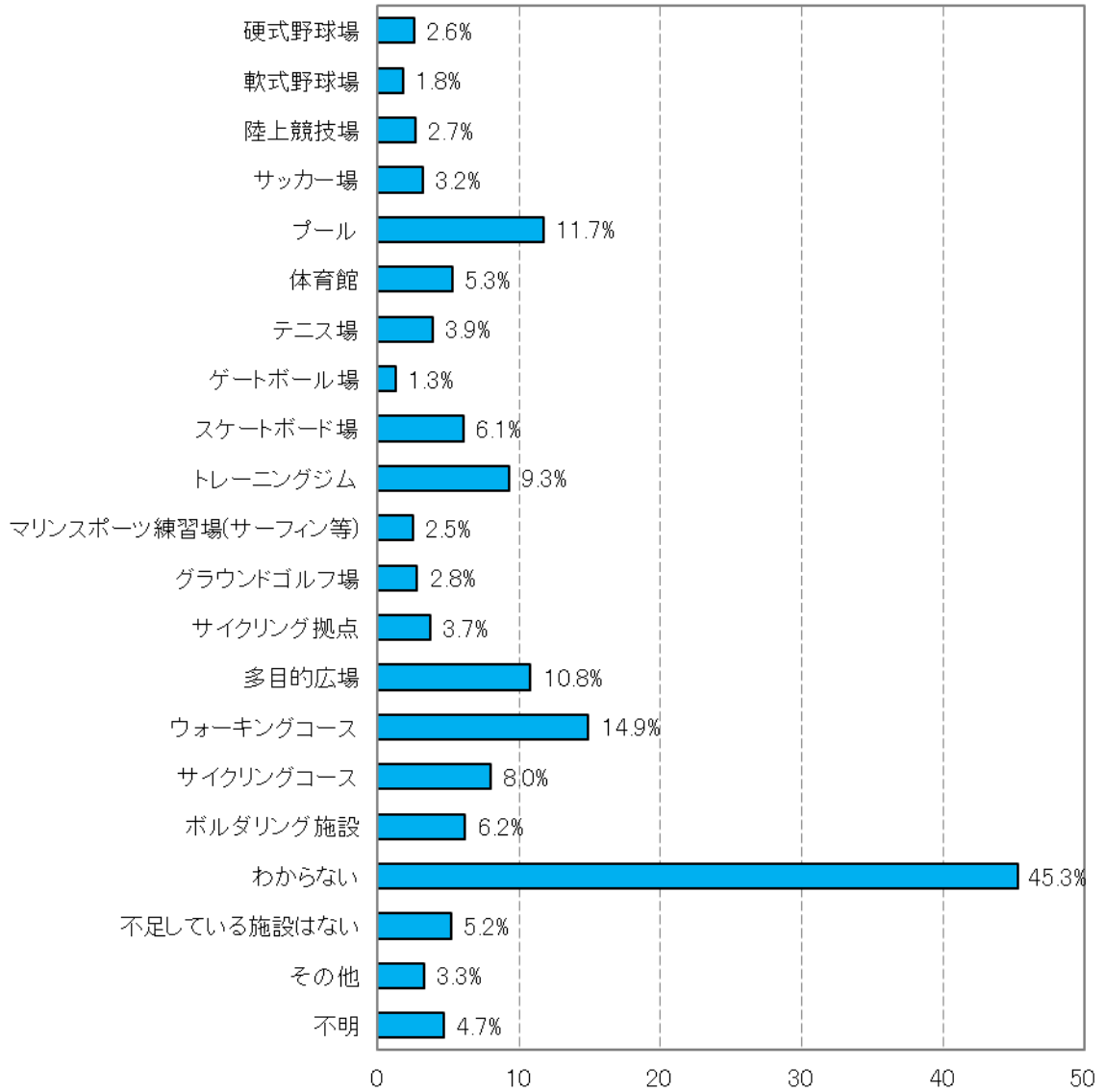


※複数回答のため%の合計は100を超えています。

その他：「軽登山」、「バドミントン」、「ヨガ」、「アクアビクス」など

問3 あなたが、市内のスポーツ施設について不足していると思われるものは何ですか？  
(複数回答可)

不足している市内のスポーツ施設について、「わからない」と回答された方の割合が45.3%と最も多く、次いで「ウォーキングコース」(14.9%)、「プール」(11.7%)となっています。



※複数回答のため%の合計は100を超えています。

その他：「スケートリンク」、「バスケットコート」、「整備された公園」など

## (2) インターネットモニターによるアンケート調査

調査期間：令和4年8月15日（月）～8月26日（金）

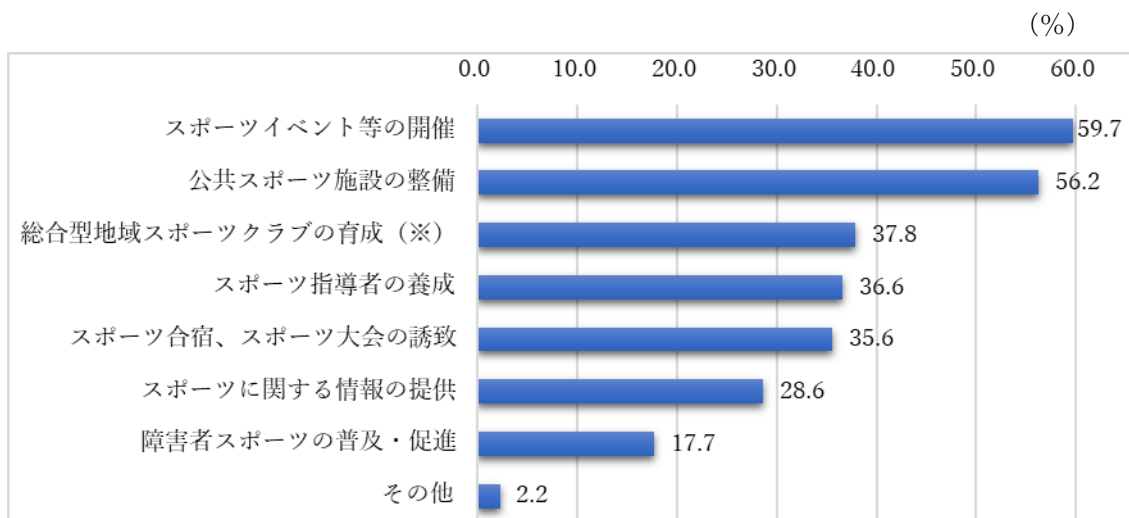
調査対象：和歌山市インターネットモニター制度に登録している1,018人

回答者数：735人（回答率72.2%）

問1 本市のスポーツ振興のために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか？

（あてはまるものをすべて選択）

本市のスポーツ振興における力を入れていくことについては、「スポーツイベント等の開催」が59.7%と最も多く、次いで「公共スポーツ施設の整備」が56.2%となっています。



※複数回答のため%の合計は100を超えています。

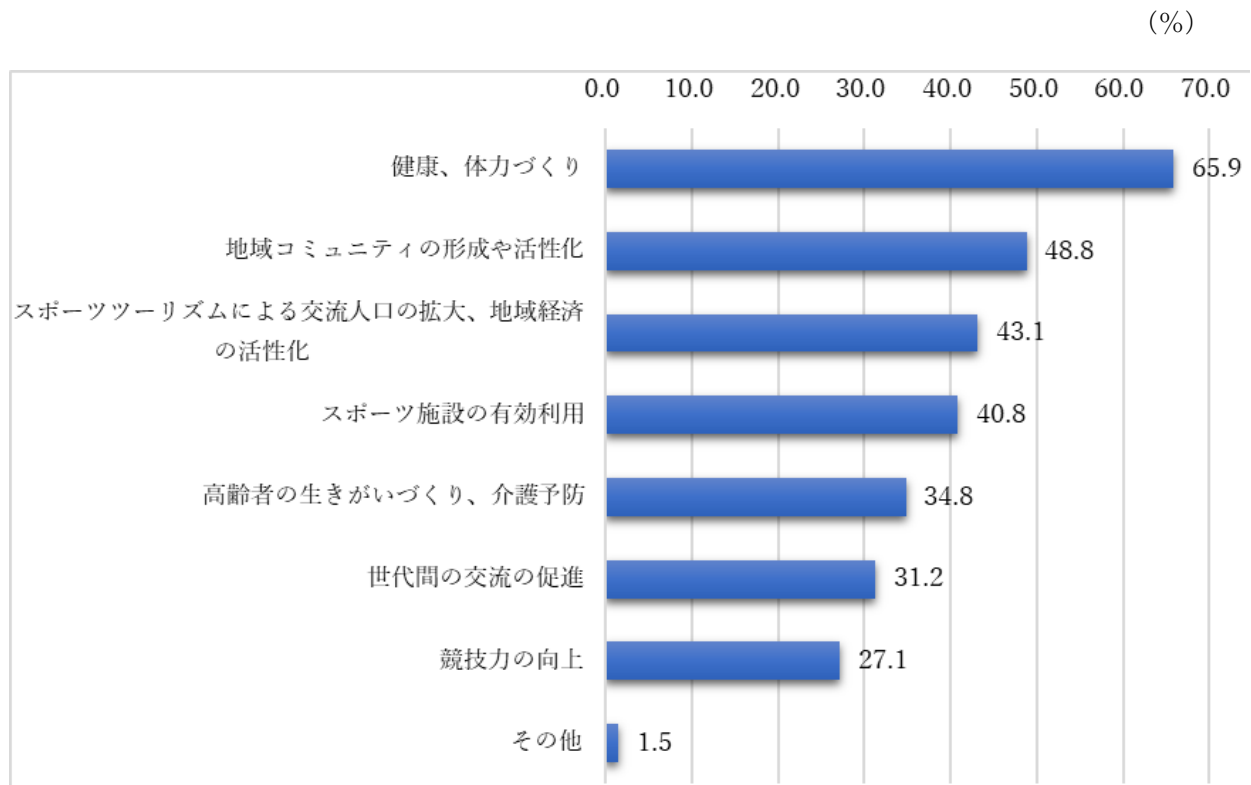
(※) 総合型地域スポーツクラブ・・・人々が、身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営される。

※その他：「必要なし」、「プロスポーツチームの強化」、「運動教室を色んなところで開催」、「プロスポーツの誘致、積極的関与」、「野球やサッカーなどプロチームに公式戦を開催してもらおう」、「興味無し」、「フォーラム」、「興味ない」、「1日教室とか開催してほしいです」、「選手達の宿舎」、「身体のメンテナンスを重視したトレーナー、理学療法士常駐の障害者から高齢者まで格安に利用できるスポーツ施設が必要」、「いろんな方がスポーツをする機会を設ける、体験会をしたり、練習費用なども市で負担してもらえると家庭の負担が減る」

問2 市がスポーツを推進することで、どのような効果を期待しますか？

(あてはまるものをすべて選択)

市のスポーツ推進に期待する効果は、「健康、体力づくり」が65.9%となり、次いで「地域コミュニティの形成や活性化」(48.8%)、「スポーツツーリズムによる交流人口の拡大、地域経済の活性化」(43.1%)となっています。



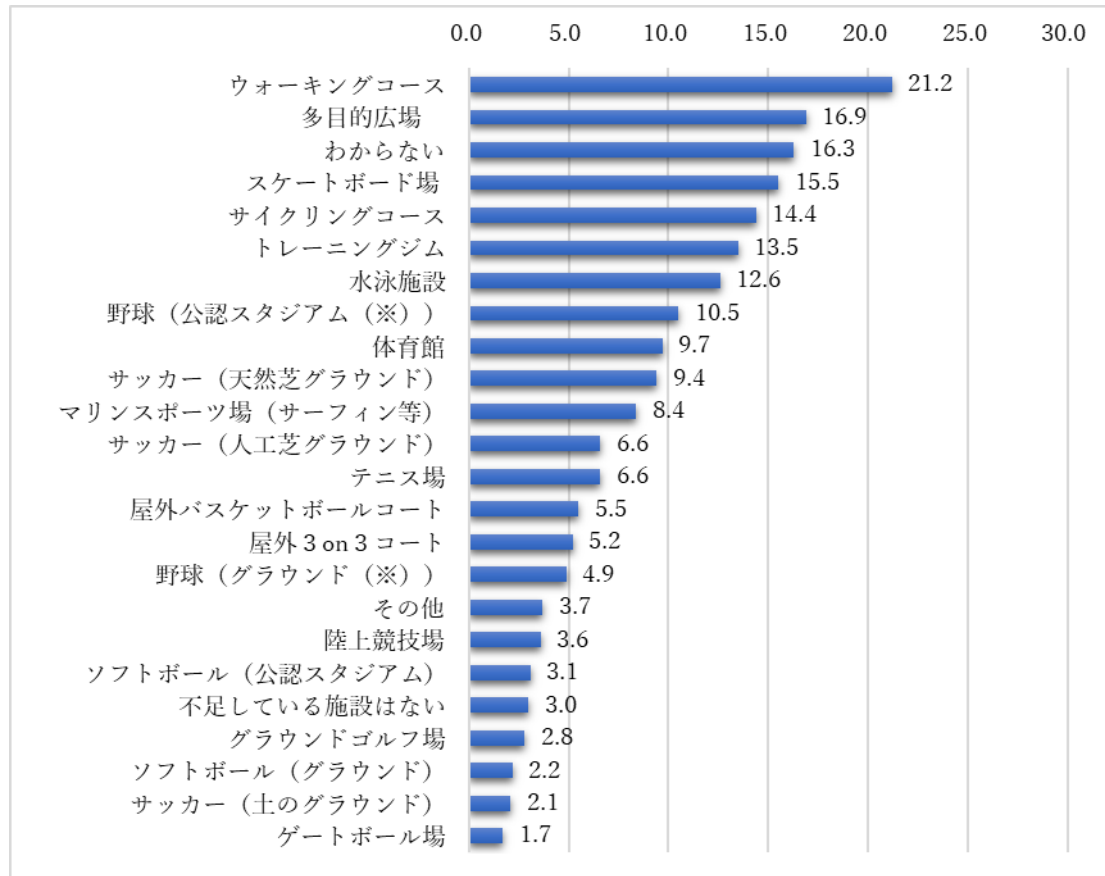
※複数回答のため%の合計は100を超えています。

※その他 : 「期待しない」、「ホテル利用などの経済効果」、「医療費の削減に寄与」、  
「未就学児を含む、子供向けのスポーツ教室」、「子供や学生のスポーツに興味をわくきっかけとなる」、  
「スポーツを始めて四年、筋肉強化だけでなく食べることに気をつけるようになった。栄養バランスのとれた食事を意識した。通うスポーツクラブのインストラクターさんの助言も役立っている。今まで食べなかった物も食べられるようになり、自分でも驚いている。さらに、心のバランスもとれるようになった。ストレスが溜まってもスポーツすれば気分が晴れる。スポーツクラブで顔見知りができる孤独な気持ちもなくなる。仲間ができるとスポーツは続けやすい」、  
「市のPR&知名度アップ、周囲の飲食店や公共交通機関利用による経済効果」

## 問3 市内のスポーツ施設について、不足していると思われる施設は何ですか？

(あてはまるものをすべて選択)

不足しているスポーツ施設について、「ウォーキングコース」が21.2%と最も多く、次いで「多目的広場」(16.9%)、「わからない」(16.3%)、「スケートボード場」(15.5%)の順となっています。



※複数回答のため%の合計は100を超えています。

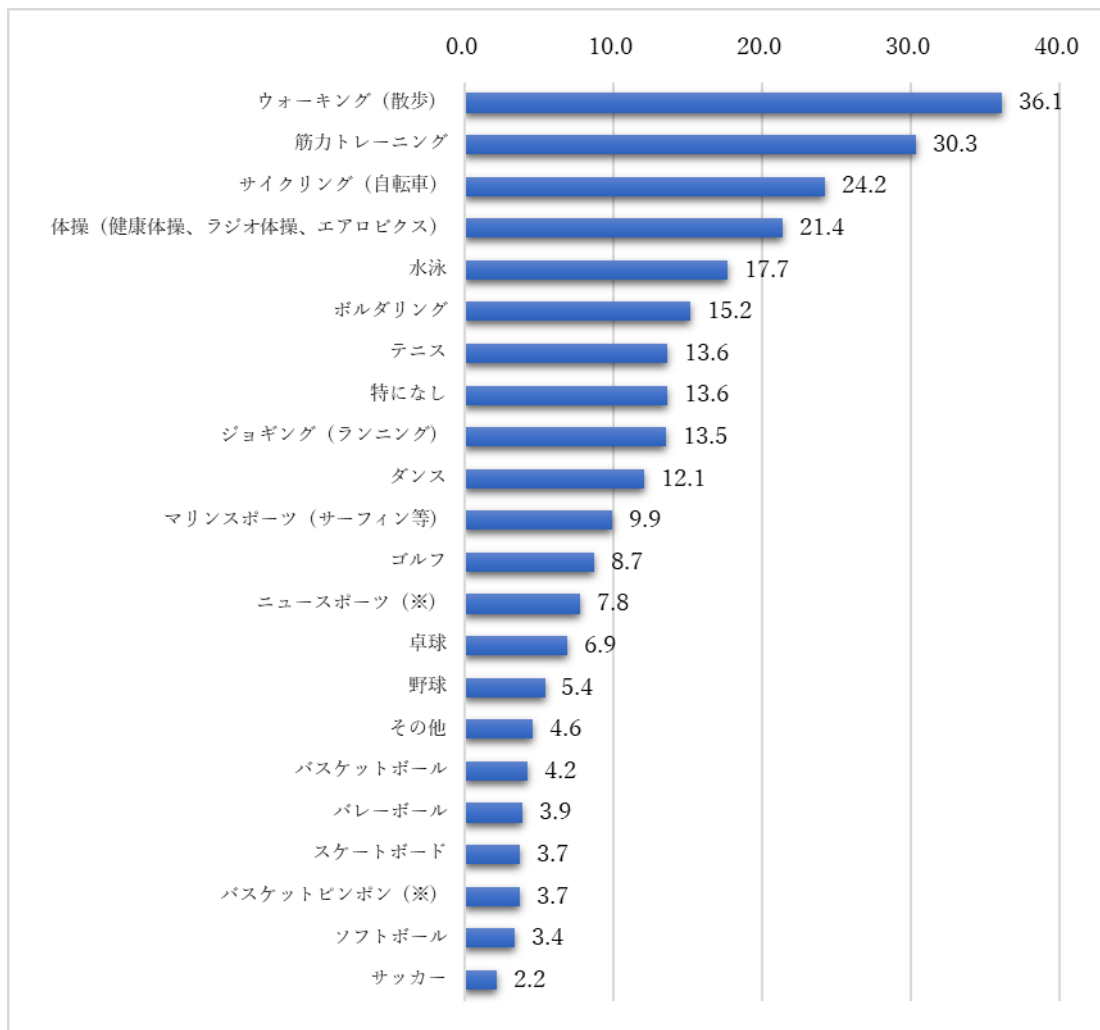
※その他：「フィギアスケート」、「スケートリンク」、「アイススケートリンク」、「屋外プール」、「スケート場(アイス、インライン共に)個人的に練習したいが場所がなくあったらいいなと思うので」、「ウインタースポーツ」、「乗馬施設」、「武道場、馬場」、「なぎなた」、「ソフトテニス」、「スポーツ施設は要らない。それより散歩道の拡充など、日常の運動をやりやすい環境を整えてほしい」、「屋外施設のトイレ・休憩所等の充実。運営なども地域で」、「卓球場、バドミントンができる場所」、「弓道場、アーチェリーの大会開催で来る施設」、「スポーツ施設に付随するトイレや休憩所・水飲み場等」、「小学生中学生がドッジボールやサッカー、野球ができるグラウンド」、「ボルダリング等」、「吹奏楽など楽器の練習できる場所、ヨガ太極拳などできる場所」、「eスポーツの施設」、「自然を活かしたアスレチックジム」、「空調の効いた施設」、「射撃場(クレー等)」、「紀三井寺競技場の駐車場」、「パークゴルフ場」、「ラグビー場」、「スポーツの推進や競技の普及に関心がいくが大切なのは運動後のリカバリーや身体のメンテナンスもできる郊外型の巨大スポーツ施設が必要。また、市が施設を作るとき民業圧迫の批判が出るが市民の健康のためには必要」、「ディスクゴルフ場。あまりやっている所がない。四季の郷等の広い公園周辺で出来そう」、「真夏や真冬や、老若男女に幅広く利用できる屋内(屋根だけでもある)ウォーキング施設」



## 問4 やってみたい運動・スポーツはありますか？（あてはまるものをすべて選択）

やってみたい運動・スポーツは、「ウォーキング（散歩）」が36.1%と最も多く、次いで「筋力トレーニング」（30.3%）となっています。他の項目で10%を超えているのは、「サイクリング（自転車）」（24.2%）、「体操（健康体操、ラジオ体操、エアロビクス）」（21.4%）、「水泳」（17.7%）、「ボルダリング」（15.2%）、「テニス」（13.6%）、「特になし」（13.6%）、「ジョギング（ランニング）」（13.5%）、「ダンス」（12.1%）です。

（%）

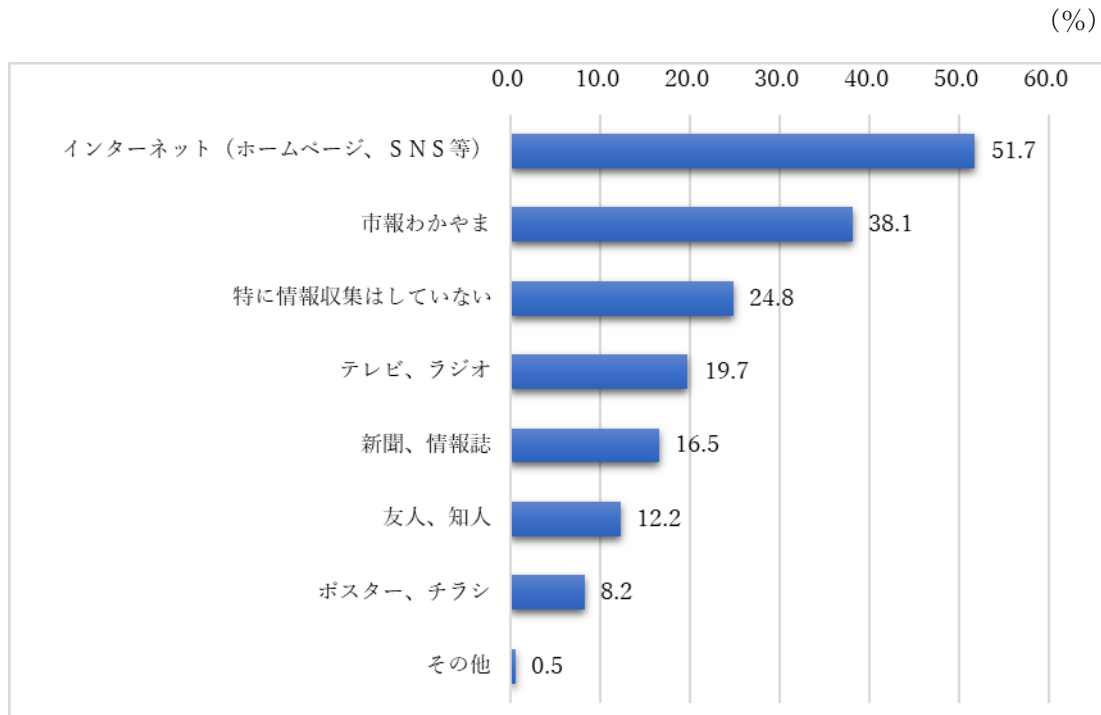


※複数回答のため%の合計は100を超えています。

※その他：「ボウリング」、「ヨガ」、「太極拳」、「ストレッチ体操」、「バドミントン」、「ダンス」、「スケート（アイス、インライン共に）」、「ローラースケート」、「バドミントン」、「綱引き」、「複数のゲート・ゴルフ場」、「剣道、スポーツチャンバラ」、「ボクササイズ、ダンス、合気道」、「パークゴルフ」、「ゲートボール」、「eスポーツ」、「ラクロス」、「バドミントン」、「ソフトバレーボール」、「クラシックバレエ」、「トライアスロン」

問5 運動やスポーツに関する情報をどのように入手していますか？（あてはまるものをすべて選択）

運動やスポーツに関する情報の入手は、「インターネット（ホームページ、SNS等）」（51.7%）が最も高く、次いで「市報わかやま」（38.1%）、「特に情報収集はしていない」（24.8%）となっています。



※複数回答のため%の合計は100を超えています。

※その他： 「通っているスポーツクラブからの紹介」、「所属チームの連絡」、  
「専門誌やスポーツプロからの情報」、「体育協会会議、スポーツ振興課」

## 和歌山市スポーツ推進計画策定委員会

委員長	和歌山大学教育学部准教授	彦次 佳
副委員長	和歌山市スポーツ推進委員連盟会長	小林 俊次
委員	和歌山市体育協会副会長	鎌田 多記男
委員	和歌山市身体障害者連盟会長	畠中 常男
委員	和歌山信愛大学教育学部教授	森崎 陽子
委員	総合型地域スポーツクラブ 「スプラウトスポーツクラブ」理事	南 由佳
委員	公募委員・健康運動指導士	寺田 尊紀
委員	和歌山市小学校校長会代表（岡崎小学校校長）	塩谷 通功
委員	和歌山市中学校校長会代表（西脇中学校校長）	高木 康子
委員	和歌山市企画政策部長	奥山 由佳
委員	和歌山市社会福祉部長	西岡 貞晶
委員	和歌山市文化スポーツ部長	山本 敬

### 第2期和歌山市スポーツ推進計画

和歌山市産業交流局文化スポーツ部スポーツ振興課

〒640-8511 和歌山市七番丁23番地

T E L : 073-435-1364

F A X : 073-435-1358

E-mail : [sports@city.wakayama.lg.jp](mailto:sports@city.wakayama.lg.jp)